

マーケットの動き（2021年6月7日～6月11日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。10日に公開された米国CPI（消費者物価指数）はインフレ加速を浮き彫りにする内容であったものの、物価上昇は一時的との見方から米国長期金利は低下しました。ドイツ国債市場もおおむね米国と連動した推移となりました。

投資環境見通し（2021年6月）

長期金利は、米国では上昇圧力がかけやすくなり、欧州（ドイツ）では緩やかな上昇

米国：足元のインフレ加速は一時的と考えられますが、ワクチン接種の加速や財政政策などによって景気回復見通しとともにインフレが加速するとの見方が再燃する可能性もあり、金利上昇圧力が高まりやすい状況が続くとみています。

欧州（ドイツ）：基調的にインフレ上昇は限定されるとみられますが、ECBによる量的緩和政策の縮小に対する思惑や、ワクチン接種進展による経済活動の正常化も意識されやすいことから、緩やかな金利上昇を予想しています。

	6月11日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	1.46	▲0.09	▲0.15	0.58	0.81
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	511.75	0.55%	2.10%	2.98%	5.49%

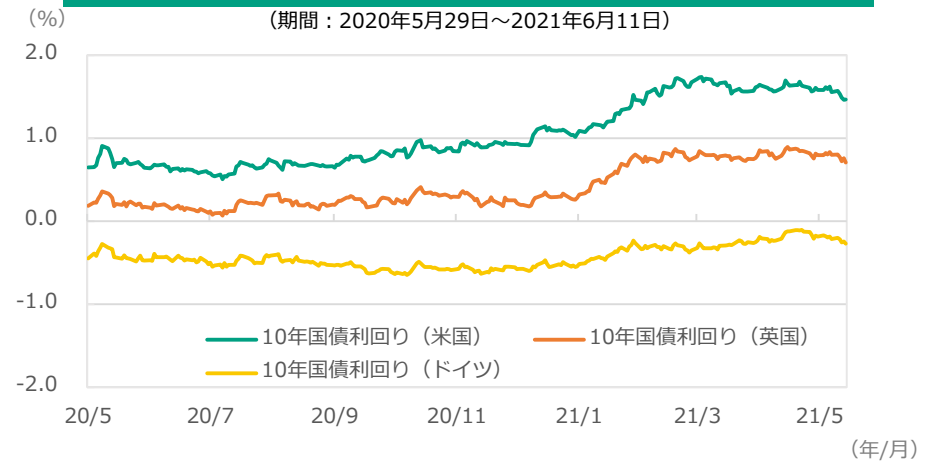
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202106_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移



FTSE世界国債インデックスの推移



※2020年5月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成